令和６年度　小野寺小学校グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法
学校教育法・学習指導要領
教育振興基本計画
とちぎ教育振興ビジョン
下都賀地区教育の重点
栃木市教育計画　　等

自立と共生を目指して

学校教育目標

自分から進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
心身ともにたくましい子ども

学校運営協議会
児童の実態
保護者の願い
地域の願い
とちぎ未来アシストネット
小・中一貫教育　　等

笑顔と元気
～優しい気持ち～

目指す学校像
・子どもが学ぶ喜びを感じ、わくわくしながら通う学校
・教職員が互いに高め合い、協働する学校
・学習環境が整備され、安全で美しい学校

目指す教師像
・子どもへの愛情をもち、子どもと誠実に向き合う教師
・確かな指導力と学び続ける向上心をもつ教師
・豊かな人間性、社会性、教養を備えている教師

学校経営の基本方針

1　知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指す。（学びに向かう集団づくりと個別最適な学びの実現を目指した指導の工夫）
2　特別支援教育を中核に据えた学校教育の充実を図る。（自閉・情緒学級における個別支援のあり方についての校内研修の充実）
3　「全ては子どもたちのために」の理念の元、全教職員が協働して教育活動を推進する。（チーム小野寺小）
4　教職員の人権感覚を磨き、児童の人権意識を高める教育活動を展開する。（児童の自己有用感を高める取組の実践）
5　地域資源（人的・物的）を活用した教育活動を展開し、地域とともにある学校を目指す。（ふるさとを生かした学習の充実）
6　教職員一人一人が学校経営に参画し、本校ならでは教育活動を展開する。（教育課程、学校課題、学年行事等）
7　「表現力の育成」と「ふるさと学習」を学校課題に盛り込み、具現化を図る。

【令和６年度学校課題】自分の思いや考えを表現する力を育む指導の工夫～ふるさとのよさを発信できる児童の育成をめざしながら～

P　　A

努力点　（☆は岩舟ブロック小中一貫教育の努力点）

（１）自分から進んで学ぶ子ども ～確かな学力～	（２）思いやりのある子ども ～豊かな心～	（３）心身ともにたくましい子ども ～健やかな体～
①確かな学力の育成 ・主体的、対話的で深い学びの実現 ・目標と指導と評価の一体化 ・「とち介の学び」による授業改善 ・深い教材研究 ・一人一授業による授業改善 ②伝え合う力（コミュニケーション力）の育成 ・自分の考えを文章にまとめる ・表現の場の設定 ・学びあいを通した考えの深化 ③地域を愛する心を育むふるさと学習の推進 ・とちぎ未来アシストネットとの連携 ・地域との連携 ④家庭学習の習慣化（☆） ・保護者との連携 ・家庭学習の時間の設定 ⑤情報教育の充実 ・タブレットの活用による学習活動の充実 ・情報モラルの指導 ・プログラミング教育の推進 ⑥グローバル教育計画の立案・実践・見直し	①あいさつ・正しい言葉遣いの奨励（☆） ・基本的生活習慣の徹底 ・家庭・地域との連携 ②生命・人権を尊重し、一人ひとりが認め合える学級経営 ・人権教育実践研究校としての実績を生かした人権教育の深化・拡充 ・自己肯定感を高める関わり ・一人ひとりの良さを認め生かす関わり ・花や野菜の栽培活動 ③道徳教育の充実 ・特別の教科道徳の授業公開と保護者との連携 ・考え議論する道徳の授業の展開 ④豊かな心の育成 ・音楽活動の推進（表現活動交流会） ・読書活動（家庭との連携） ・地域との連携 ⑤異年齢集団や他校との連携による人間関係形成力の育成 ・異年齢によるグループ活動 ・幼・小・中・高・大との連携	①運動への意欲と体力の向上 ・外遊びの奨励 ・体育的行事の充実 ・運動量のある体育の授業 ②健康の保持増進と望ましい生活習慣の育成 ・正しい姿勢を意識した生活 ～立腰の推奨～（☆） ・食育の推進 ・歯みがき指導（フッ化物洗口） ③安全指導・安全管理の徹底 ・自助・共助を目指した避難訓練の実施 ～土砂災害特別警戒区域指定を受けて～ ・登下校の安全指導 ・複数の目による安全点検の実施 ・地域との連携 ※害獣被害の回避 ※通学路点検 ④岩舟ブロック小中一貫教育（第三期）の実践 理想を掲げ、自分らしく、たくましく 未来を切り拓く子ども ～自立と共生、自己実現のために～

（４）特別支援教育・教育相談・児童指導の充実

①自閉・情緒学級運営についての研修の充実　②各種調査等の実施による実態把握と早期発見・早期対応　③教職員間の情報の共有
④教育相談週間の実施　⑤すくすくシートの活用　⑥ユニバーサル・デザイン化と合理的配慮の推進　⑦保護者・関係機関との連携

D　　C

学校評価

【・自己評価・学校関係者評価（学校運営協議会）・各種学力調査・体力テスト・行事の反省・３指導部会　等　】